

2023年3月23日（木曜）

全労金2023春季生活闘争ニュース・第30号

～勝ち取ろう賃金改善！“みんなの春季生活闘争”で生活不安を払拭しよう！～

《合意速報No. 8》

長野労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

長野労組は、3月23日14時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要求					回答				
		正職員	アシスタント職員	スマイルポーター	シニア職員	シニアアシスタント職員	正職員	アシスタント職員	スマイルポーター	シニア職員	シニアアシスタント職員
最低賃金		時間額1,035円、日額7,590円、月額159,400円への引き上げ					要求通り 時間額1,035円、日額7,590円、月額159,400円				
基本賃金	改善内容	5,800円	時給17円 定昇調整点1,260 円の廃止	時給17円	5,200円	時給25円	3,000円	時給14円 定昇調整点の廃止は応じ られないが時給1,260円 上乗に改定	時給14円	2,400円	時給22円
一時金		4.7	2.5	1.1	2.5	2.5	4.7	2.5	1.1	2.5	2.5
昨年実績		4.7	2.5	1.1	2.5	2.5	4.7	2.5	1.1	2.5	2.5
安定雇用	無期転換	—	(実現)		—	—	—	(実現)		—	—
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)		—	—	(実現)			—	—
	育児時短	小学校3年生まで		—			要求通り		—		
単組独自要求		—					—				

《金庫の発言概要》

- 回答期限日までに基本合意を表明いただいたことに感謝申し上げます。
- 全ての回答について満足がいかなかったと考えるが、英断に対してご理解をいただいたことに感謝する。
- 今回の賃金改定については、この間の組合員の支援と協力・尽力、また、来年度以降の奮闘に期待することをベースとしたものである。
- 次年度も2024春季生活闘争が展開されるものと思うが、こうした物価情勢は引き続き続いていくことが想定される。今年是多方面で有額回答がされているが、来年はこのような春季生活闘争にはならないのではないかと。金庫の収益が上がってこそ賃金に還元できるものと認識している。
- こうした環境ではあるが組織風土改革に取り組んでいく。来年度も組合員の皆さんに金庫の事業運営への支援・協力・一層のご尽力を賜りたい。

《富永闘争委員長の発言概要》

- 組合員として新たな施策が進められる中での奮闘と日本全体における物価上昇による実質賃金が下がっている観点から、基本賃金の改善については、全組合員が金庫に期待をしていた要求となる。
- そのため満額ではない回答については、受け入れがたい部分もあるものの、この間の交渉経過から金庫における現在の経営状況を踏まえ最大限の回答をしていただいたと理解しており、その点については感謝申し上げたい。
- 交渉を通じて組合員への声に応え「共にこの厳しい環境を乗り越えていきたい」とのメッセージが示されたことは今回労使にとっての一番の成果であった。
- 今回の要求に対する回答は満足できる結果ではないものの、労使の認識が一致し、今後の長野労金の発展に向け共に前を向いて進んでいくことができることを踏まえ、基本合意を表明する。

単組は、①基本賃金改善要求項目以外の要求は満額回答が示されたこと、②基本賃金改善については当初経営状況の厳しさのみを主張し全く要求に向き合う姿勢が示されない中で、昨今の物価上昇や職員・組合員のモチベーション向上の観点より満額回答ではないものの、一定の金額を引き出すことが出来たこと、③金庫より組合員への感謝の気持ちと共に厳しい経営環境を乗り越えていくために今回単組が要求した水準にできる限りの範囲で応えようとしたこと、④組織風土改革をめざす観点について同様の認識のもと、2023年度以降の事業に前向きに進めていきたいとのメッセージが示されたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（6単組／3月23日16時50分現在）

静岡・四国・四国（関連）・北陸・近畿（金庫）・近畿（関連）・北海道・長野

以 上